

## 図書室より 新着図書のお知らせ

12月

2024年

【一般書】

「**架空犯**」 **東野圭吾** 「白鳥とコウモリ」の世界再び——シリーズ最新作

「まるで幽霊を追いかけているようだ」

焼け落ちた屋敷から見つかったのは、都議会議員と元女優夫婦の遺体だった。

華やかな人生を送ってきた二人に何が起きたのか。

「誰にでも青春があった。被害者にも犯人にも、そして刑事にも——。」

「**小鳥とリムジン**」 **小川糸**

「食堂かたつむり」—「食べることは、生きること」

「ライオンとおやつ」—「死におかうことは、生きること」

小川糸が描き出す、3つめの「生」の物語—「愛することは、生きること」

傷口に、おいしいものがしみていく 苦しい環境にあり、人を信頼することをあきらめ、自分の人生らもあきらめていた主人公が、かけがえのない人たちと出会うことで自らの心と体を取り戻していく。

「**やさしさを忘れぬうちに**」 **川口俊和**

ハリウッド映像化！世界320万部ベストセラ—の「コーヒーが冷めないうちに」第5刊！

「いつか」なんて待たずに、すぐ会いに行けばよかった——。

結婚を許してやれなかった父、バレンタインチョコを渡せなかった女、離婚した両親に笑顔を見せたい少年、名前のない子どもを抱いた妻……

止まってしまった「今」を動かすために過去に戻る、4人の男女の物語。

【児童書・絵本】

「**ふしぎ駄菓子屋 銭天堂⑩**」 **廣嶋玲子**

研究所の職員が紅子を装って、開発した駄菓子をばらまき、銭天堂の評判をおとしめる計画は、着々と進行していた。これを知った紅子は、この計画を阻止しようと、行動に出る。しかし、六条教授は、紅子の動きを完全に読んでいた……。そして、ついに紅子と六条教授の対決のときがせまる。

「**にじいろの さかな**」 **マーカス・フィスター**

にじいろにかがやくろこをもった、世界でいちばん美しいさかなは、ひとりぼっちでさみしいさかなだった。ある日、にじいろのさかなは、なやみをひとでにうちあげた。

